

広くなったぞ、ぼくらの校庭

野口小学校の校庭拡張終わる

一月末から始めた野口小学校の校庭拡張工事が終わり、五月二十一日午後三時から、同校体育館で市長を始め関係者約二百人が出席して竣工式が行われました。

拡張した校庭は、これまでの校庭の南側で、面積は四千〇〇〇平方メートル、伸び伸びと遊ぶ子どもたち



五百七十平方メートル。拡張前の面積二千九百平方メートルを合わせると七千四百七十平方メートルとなり、約二・六倍の広さになりました。児童一人当たりの校庭面積も十五平方メートルから四十平方メートルになり、中宮祠小・中学校の百一十一平方メートル、小来川小・中学校の八十四平方メートル、日光中学校の五十八平方メートル、日光小学校の四十三平方メートルに次ぐ広さです。

この校庭敷地は、土地所有者であった高藤喜平氏(野口)と弓手脩三氏(野口)の協力を得て市が取得し、工事費三千百三十七万円をかけて拡張したものです。児童の安全を図るため、道路沿いには高さ三メートルから五メートルのネットフェンスを設置、また、校庭の排水効果をあげるため「地下集水ポンプ」を埋設しました。この施設は、市内の小中学校では初めての施設で、その効果が期待されています。

通学路も整備される

野口小正門前踏切から日光レースの間

一方、同校の児童が通学路と利用している市道三四六号線(野口小学校正門前踏切から日光レース裏までの二百十九メートル)も、土地所有者であった湯沢庄太郎氏、高藤喜平氏、矢野勝男氏、本郷忠久氏、小杉圭市氏の協力を得て、市が一千万円をかけて幅員五・

三メートルに拡張整備されました。整備される前は、この道路と並行して五ヶ村用水路があり、地元父兄からも危険を指摘されていました。今回の拡張で五ヶ村用水路は道路の下を通ることになり、通学上極めて安全が保たれることになりました。

あせのにおいの

する校庭

六年 増子 陽



広くなった

校庭

六年 加藤晴美



毎朝、学校にくるともう工事が始まっている。

「おはようございます」と言うと、工事のおじさん、おばさんは、「おはよう」と答えてくれた。

何日も、何か月も、風の日も、雪の日も、寒い日も、真っ赤な顔をして工事をしてくれました。近くにいくと、あせのさわやかなにおいがした。

すごく高いバックネット。これで野球部のぼくも、いくらフライをあげてもだいたいようぶです。そして、ぼく達の校庭でも野球の試合ができます。

工事のおじさん、おばさん、あせのにおいのする校庭ありがとう。

私達は、校庭が広がって前よりもたくさん遊びができるようになりました。今までは、ボールを投げたり、けつたりすると、すぐに人にぶつかったりしたけれど、今は、サッカーをしている人達も、のびのびとやっています。それに、すべり台やジャングルジムなどが増えたので、休み時間になると、友達とどこに行つて遊ぶうかと、いつも迷ってしまいます。秋の大運動会では、校庭が広がったので、応援も大きく大きく聞こえそうです。

こんなに立派な校庭をつくるために、寒い雪の日も、雨の日も工事をしてくれたみなさんありがとうございました。